

社会貢献と起業活動

—21世紀アジアにおける国際協力とNGOの役割 第3回—

日時:2009年1月24日(土)13:30~

場所:国土館大学 梅ヶ丘校舎 34B301 教室

学生発表

萩原

本日の発表の司会を務めさせていただきます、Green project 総務の萩原と申します。本日は30分という短い時間ですが、できるだけ詳しくGreen projectを知っていただければと思います。本日はまず、Green project 事務局長の内山から挨拶と簡単な団体概要・設立の経緯と事業モデルの説明をさせていただきます。つづいて、管理担当の芥川よりプランター作成について、その後営業報告を古賀より、また同じく営業担当の堀田からNPO申請について詳しく説明いたします。そして私がGreen projectのその他の活動について紹介し、最後に今後の目標を内山から説明させていただきます、終了したいと思います。

内山

こんにちは。代表の内山俊英です。本日はGreen projectの発表に大変大勢の皆様にお出でいただきまして、心からありがたく思っております。これから私どもが昨年から取り組んでまいりましたGreen projectの活動について発表いたします。

まずは私どものメンバーを紹介いたします。私が事務局長で代表を勤めております内山です。他に幹事の脇谷、総務の大宮、営業の大野木、同じく営業の古賀と堀田、管理の芥川と坪倉と司会の萩原を含め、9人で活動しております。

それでは団体概要について説明いたします。Green projectは現在、特定非営利活動法人を申請中でして、書類は受理していただいております、審査結果を待っている状態です。従って私どもは株式会社ではありませんので、トップに会員総会、理事会、そして私どもメンバーという組織構成になっております。理事会につきましては、創設時のメンバーが勤めております。

当団体の設立経緯ですが、我々は21世紀アジア学部の中山雅之先生のゼミに入っております、卒業研究の一貫として起業活動を行うことにいたしました。何を事業としようかと考えていましたが、環境問題が問いただされている現在、我々も何かできることがあるのではないかとGreen projectを立ちあげることにしました。事業としては、学校構内や周辺地域を初めとした場所にプランターを置くことで地球温暖化対策に貢献しようという活動です。

プランターを設置するにはまず場所や運営資金の確保が必要です。それには、ご興味を召してください企業を回りまして、企業が我々の活動に賛同していただきましたら、協賛金をいただけるようお願いしております。そしてプランターに広告として企業の名前とGreen projectのロゴをつけて各所に設置するのです。メンバーは定期的集まり、営業活動・プランター設置作業などの活動しております。また事務所には校内にあり、学校からコピーやファックスの提供などの支援をしていただいております。事務所の壁にはホワイトボードを貼っております、そこに各営業チームの進行状況などを目標などと一緒を書くなど、皆で盛り上げながら活動を進めております。

萩原

次に実際のプランター作成について、管理担当の芥川から説明させていただきます。

芥川

管理担当の芥川美里です。プランター作成について簡単に説明いたします。

まずどのような種類の植物を選ぶべきかを話し合ったのですが、寒さにも暑さにも強く、非常に管理がしやすい面からゴールドコーンという種類がいいという判断になりました。したがって頻繁に世話をする必要がなく、比較的楽に育てることができます。しかし成長すると大きく成長する品種であり、どのような管理をしていくのかということも多く団体や企業さんから聞かれました。このよう

な問題への対処や活動についてのアドバイスをいただければと、社団法人国土緑化推進機構を訪問いたしました。そこで、プランター緑化についてと今後の活動についての提案をいただきました。

プランター緑化について相談できたことで、毎日の水遣りや適度に日に当てるとということが意外にも難しいということに気がつきました。また、木を植えることは、木が酸素を出すだけでなく癒しの効果や保水などの効果があることから、Green project の活動は非常にメリットがあるとおっしゃっていただきました。ほかにプランター緑化以外にできる活動についてもアドバイスいただきました。

設置についての簡単な手順を説明いたしますと、まず土七割と腐葉土三割を混ぜて用土として準備するところから始めます。次に土と苗をいれてプランターに植え入れます。このときにあまり二本が接近してしまうと風通しが悪くなって木がかれてしまうことがあるので、少し距離を離しました。最後に、プランターに企業の広告を載せて完成です。

今後は、国土緑化推進機構の方々にお聞きいたしましたお話などを参考にし、木が育った後の管理の解決策なども考えながら活動を進めていきたいと思えます。

古賀

営業チーム代表として報告いたします。

営業を順序だてて行くに際し、まず CSR リスト作成をしました。CSR は企業の社会的責任という意味で、大手企業に積極的に取り組んでいる例が多く見られたため、企業の CSR 推進室や社会貢献室をリストを作成しまして、3 チームある営業チームにそれぞれ振り分けました。そしてそのリストを元に企業に電話を掛け、資料の送付をします。その後企業を訪問し、我々の活動を説明し、理解・賛同いただけましたら契約をしていただきます。

これまでの報告ですが、11月の3グループ合計では、電話を約80件しまして、そのうち資料送付が40件、訪問4件、契約を2件いただきました。

11月17日には、株式会社毎日コミュニケーションズに行ってきました。訪問先は就職事業本部キャリアサポート部キャリアサポート課です。事業内容を説明した際に指摘いただいた点は、値段が高いということ、企業に対してのメリットの説明不足、また時期の問題などがありました。メリットの説明不足という部分については、毎ナビが私たち Green project と契約していただくことのような効果が期待できるのかが分かりにくいので、そのリストの作成をしたほうが良いという指摘をいただきました。また、時期の問題としてあげられたのは、毎ナビさんは就活生を対象にしていますので、学校に学生が来ない冬休みや春休みを期間として契約してしまうと広告効果がないのではないかとこの点です。後日値段を変更し、もう一度営業に参りましたところ、12月からの契約をいただくことができました。みなさんもよく通ると思うのですが、鶴川校舎30号館の入り口付近にプランターを置かせていただいております。

続きまして、株式会社フジテレビジョンさんの CSR 推進室に11月21日に内山と私で訪問いたしました。その際、値段に対する集客率が見合っていないのではないかと指摘を頂戴しました。これも毎ナビと同じで、メリットの明確化が出来ていないということです。ほかに、フジテレビジョンはお台場を中心に社会貢献を行っていることから、世田谷や鶴川での契約は趣旨が違う面があるということで、今回の訪問は契約にいたら終了となりました。けれどもアドバイスはいつでもいただけるということで、先日も訪問させていただいています。

続きまして、株式会社ヘアメイクアッシュ町田一号店です。事業内容を説明したときにはただオーナーと話をさせていただけるということで終わったのですが、今年度に入ってから四月からの三ヶ月間の契約が決定しました。4月から鶴川校舎に設置いたします。その他もさまざまな企業さんを訪問しております。

以上をもって、営業代表の挨拶とさせていただきます。

堀田

NPO 申請を担当しました堀田です。普段は営業担当なのですが NPO 申請のための書類の準備に携わりましたので、その内容を報告させていただきます。

申請の流れですが、まず NPO 申請書を作成し、東京都生活文化スポーツ局都民生活部管理法人課へ提出します。書類の縦覧期間は2ヶ月間。受理日から4ヶ月以内には審査が行われ、それが無事に認証されると法人設立登記を行い、その閲覧書類作成が済んだら晴れて NPO 法人となります。今現在 Green project の申請は縦覧期間にあたっております。書類は11月末に提出しましたので、全部が無事に終了するのは3月の末になると思えます。

何故 NPO 法人を選んだのかといいますと、先ほど中山先生や内山からも報告があったとおり、私た

ち Green project の主な目的は社会貢献ですので、利益を出すことを最も優先する株式会社ではなく、社会に多くを寄与できる NPO 法人のほうが良いと判断したのです。NPO 法人の申請には 4 ヶ月という長い時間がかかるのですが、そのかわり社会的に大きな信頼を得られますので、それは長く活動を続けるための大きなポイントではないかと思っています。NPO 法人の申請というのは非常に多大な労力と時間がかかります。中山先生に簡単だよといわれて引き受けたのですが、ちっともそんなことがなくて大変でした。けれども中山先生にいろいろご助言をいただきながら書類を作成し、結果、無事受理していただきました。

先ほど申しましたように、Green project が NPO 法人になれるのはおそらく 3 月末です。これからも NPO 法人として活動していけるよう頑張りたいと思います。

萩原

私たち Green project は、その他の活動として校内の落書きを消す運動なども行っています。年末にこの活動のポスターを 30 号館のラウンジに掲示し、参加を募りましたところ、何名かの学生に来ていただきました。落書きを消しながら気がついたことは、数は比較的少なかったのですが、前列よりも後列のほうに落書きが多いということでした。

私たちがこのような活動をする理由は、社会貢献を身近なところから行っていきたいということと、Green project の活動に支援をしていただいた学校に感謝の気持ちを示したかったということがあります。

内山

最後に、今後の Green project のビジョンですが、現在鶴川校舎ではすでにプリンターを設置しているため、これから世田谷校舎や多摩校舎にも設置させてもらいたいと思っています。また大学の周辺地域や最寄の駅などにも置かせていただき、次に他の大学やその周辺、最終的には関東一帯へと事業を広げていければと考えております。

これで Green project の活動報告を終わりますが、興味を持っていただいた方は、全体の発表の後でも後日でもかまいませんので、鶴川校舎に事務所がありますので、足を運ぶ機会がありましたら是非声を掛けてください。本日はご清聴ありがとうございました。